

事業番号	事務事業名	花美人の里施設臨時管理費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
04465	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	商工観光係	担当者・シート作成者	大山 博聖
	施策名	25 観光の振興	根拠法令等	鏡野町温泉センター条例 鏡野町温泉センター条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	1・2階大浴場の改修、1階家族風呂の改修、1・2階露天風呂の改修、1・2階大浴場脱衣室の改修、1・2階花風呂・露天風呂の改修、1階ホール・ロビー廊下床改修、花温泉・花の館周辺デッキ改修、高圧受電整備整備等	指定管理者による修繕要望を受け、指定管理協定にも続き、町施工修繕を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 花美人の里利用者	ア 花美人の里入込客数	人	見込 実績			80,000 11,986		
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 安全に快適に利用してもらう	ア 花美人の里入込客数	人	目標 実績 達成率			80,000 11,986 15.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 委託契約	ア 契約件数	件	目標 実績 達成率			11 11 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 07 商工費	項 01 商工費	目 04 観光施設費	大事業 01 中事業 34	予算上の事業名	事業番号							
						花美人の里施設臨時管理費	04465							
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			248,992	119,611		248,992	一般財源			129,379	119,611		129,379	
合計			248,992	119,611		248,992	合計(A)			129,379	119,611		129,379	
財源名称	従事正職員人数									1	1		1	
	延べ業務事務時間									50	30		50	
	人件費計(千円)(B)									167	101		167	
最終予算額		248,992 千円		予算執行率		51.9%		トータルコスト(A+B)				129,546	119,712	129,546
主な支出事業内容(予算)	委託料			5,386 千円			主な支出事業内容(決算)	委託料			699 千円			
	工事費			243,422 千円				工事費			128,497 千円			
	光熱水費			184 千円				光熱水費			183 千円			

事業番号	04465	事務事業名	花美人の里施設臨時管理費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
利用者数は横ばい状態で推移している。他の施設が減少傾向の中、低調ではあるが維持している。施設の老朽化が顕著となっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
経常経費の支出はないので、修繕箇所ができた場合にこの事務事業を行う。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
鏡野町を代表する温泉施設であり修繕箇所が発生した場合に早急に修繕を望む声がある。老朽化しており修繕は致し方ない。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	必要な修繕工事である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	町有の公共施設であり、指定管理の契約書の中で町が修繕することとなっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	必要な修繕工事であり、妥当である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 説明	必要な修繕工事である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない	理由 説明	必要な修繕工事である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある	理由 説明	必要な修繕工事である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	必要最低限な修繕方法を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	現場確認や修繕事務手続きであり、削減の余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	町内外の人、だれもが利用できる日帰り入浴施設であるので修繕することに公平・公正である。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	だれもが利用する日帰り入浴施設の修繕であるので今後も修繕工事は行っていく。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 老朽化した施設であるので、今後も修繕が必要であり、施設を取り壊すまで継続される。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
施設自体の老朽化。 施設は建設するコストよりも維持管理するコストのほうが増大する。 今後も定期的な費用が発生し、修繕の経費が増大すると予想される。																									